

## 今後の感染拡大防止対策について

### 1 基本的な考え方

- 市内の新規感染者数は増加傾向に転じており、感染経路不明割合も増加していることから、昨年10月の感染拡大局面との比較においても、注意が必要な状況にある。
- 変異株事例も継続的に出現しており、これに伴い病床をひっ迫する可能性が高まっている状況を踏まえ、早急に感染拡大防止対策に取り組んでいく必要がある。

### 2 今後の感染拡大防止対策

#### (1) 市民に対する外出自粛等の呼びかけ

- 特措法に基づく北海道知事による協力要請を踏まえ、市民に対し、感染リスクを回避できない場合における「不要不急の外出自粛」および「不要不急の市外との往来自粛」を呼びかける。

#### (2) 疫学調査のさらなる強化

- 従来型ウイルスよりも感染力が強いとされる変異株の感染拡大を防止するため、保健所の体制強化を図り、陽性判明者に対する積極的疫学調査を徹底する。
- 感染リスクの高い行動を避けるよう市民や事業者への呼びかけを徹底するため、新規感染者の感染経路等の分析を通じて、より具体的な事例をもとに情報発信を行う。

#### (3) 検査対象の拡大

- 変異株による感染拡大を未然に防止するため、陽性者判明時の濃厚接触者等の検査対象の範囲を状況に応じて拡大し、幅広くPCR検査を行う。
- クラスターの発生を未然に防止するため、引き続き、重症化リスクの高い高齢者等が入所している福祉施設や医療機関などを対象に、従事者等に対するスクリーニング検査を行う。

#### (4) 市民・事業者等への注意喚起

- 疫学調査等により判明した感染事例の再発を防止するため、関係団体・事業者に対する注意喚起を行う。
  - ・飲食を伴う集会等（施設管理者、町内会等の団体など）
  - ・学校の部活動、スポーツ大会等

○感染経路等の分析を通じて明らかになった感染リスクの高い個人活動等を周知し、市民の行動変容につなげるため、様々な媒体を活用した啓発活動を行う。

- ・市長記者会見（定例・臨時）
- ・SNSなどを活用した注意喚起

○従来型ウイルスに比べて感染力が強い傾向にある変異株の広がりを踏まえ、飲食時や職場内での感染防止行動の実践を徹底するよう、改めて市民・事業者に呼びかける。

- ・飲食時でも会話の時はマスクを着用する「黙食」の実践
- ・休憩場所など、感染リスクが高い場所での対策の徹底
- ・人との距離を取るなど「3密」を回避する行動の徹底

○特に、少量のウイルスでも感染するリスクが高い可能性がある変異株への対策として、飛沫感染防止の徹底と合わせて、接触感染の防止に向けた手指消毒などの更なる徹底を呼びかける。

- ・マスク着用時にも大きな声での会話は控えるよう徹底
- ・こまめに、十分な量のアルコール等での手指消毒の徹底
- ・ドアノブなど共通で触れる部分の消毒を徹底

## 市内誘客促進事業について

## 1 事業概要

## (1) 事業内容

宿泊施設業界団体が実施する誘客事業に対して支援を行う。なお、事業の対象や実施時期については新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら札幌市と協議して決定することとしている。

## (2) 補助内容

申請事業者区分	ホテル・旅館等業界団体			民泊施設業界団体
申請団体	一般社団法人 定山溪観光協会	札幌ホテル 旅館協同組合	札幌市内ホテル 連絡協議会	一般社団法人 北海道民泊観光協会
補助率	10 / 10			
補助上限額	330,000千円			33,000千円

## (3) 事業費

1,023,000千円（330,000千円×3件、33,000千円×1件）

## 2 事業実施状況

## (1) 一般社団法人定山溪観光協会

## ア 実施内容

実施時期：3月12日～6月30日

対象者：札幌市民

内容：定山溪地区の宿泊施設に宿泊した札幌市民に対し、宿泊費や飲食代などに利用できるクーポン券を1泊1名につき3,000円配布

## イ 今後の対応

北海道の札幌市内における協力要請を踏まえ、3月27日以降の新規予約にかかるクーポン配布を一時停止

## (2) 札幌ホテル旅館協同組合、札幌市内ホテル連絡協議会、一般社団法人北海道民泊観光協会

現下の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、内容や時期などについて団体と協議中